

6.5 教育の質の向上

進捗状況報告

(1) 基礎演習の内容・方法の共有を目的として、2007年度秋学期に担当教員を対象としてアンケート調査を行った。2008年7月には基礎演習に関する研究会を実施する予定である。研究演習についても、2008年3月に2008年度4年次生を対象としてアンケートを行い、改善点を検討している。2年次の演習科目についても充実策を模索している。

(2) 2008年度からFD活動検討委員会を設置して、FD活動の組織的検討を開始した。今年度は、上記の基礎演習に関する研究会などを展開してゆく予定である。

学内第三者評価

認証評価において、「授業評価は2005年度に全学で実施しているが、その結果を授業改善にどのように反映させるのか具体的な方策が明確にはなっていない」との助言を全学的に受けている。また、2008年度には大学設置基準が改正され、大学院に続いて大学においてもFDが義務化された。現在、全学的組織によるFDへの取り組みが緊急の課題である。法学部においては、2007年度秋学期以降、基礎演習科目についてFDへの取り組みが開始され、研究演習や2年次の演習科目についてもFDに取り組もうとしている。FD活動検討委員会において、学部としての組織的な検討がおこなわれることを期待する。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
基礎演習担当教員へのアンケートと研究演習受講学生へのアンケート実施、FD活動検討委員会の設置など、改善に向けての活動が軌道に乗りつつある。

(以下、全学共通)
2006年度に受けた認証評価の結果において、「FD活動の一環である各学部の授業評価アンケートは、2005(平成17)年度からは全学一斉に同一フォームで行っており、結果を公表している。しかし、その結果を授業改善にどのように反映させるのか具体的な方策が明確になっていない。また、各研究科では、これまでFD活動に組織的に取り組んできたとは言えない。しかし、2006年度(平成18年度)に大学院ファカルティ・デベロップメント部会」が設置され全学的検討が開始されたところなので、今後の活動に期待される。」との助言を全学的に受けている。
本学では2008年度に全教員が担当するすべての授業科目を対象とした授業評価アンケートを実施する。2008年度の授業評価のアンケート結果と2005年度および中間年の授業評価のアンケート結果とを比較、分析し、授業改善につなげるとともに、それを社会に説明していくことが強く求められている。
また、大学設置基準の改正により大学院に続いて大学においても2008年度からFDが義務化された。

※ 大学設置基準
第25条の3(教育内容等の改善のための組織的な研修等)
大学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修を実施するものとする。